

# イオン液体処理による木材の難燃化

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 森林資源循環学研究室  
連絡先: 075-703-5646、miyafuji@kpu.ac.jp



公共建築物  
学校、病院など



**原則木質化**  
(2010年10月以降)



木材の利用促進において木の**燃える**  
という性質を改善する必要がある

## 研究

### イオン液体を用いた木材の難燃化

#### 既存技術の問題点

多量の薬剤を必要とする、処理木材の重さが重くなる

#### 本技術開発の優位性

イオン液体の種類は豊富で選択の幅が広い

新規なイオン液体の分子設計や合成も容易

少量のイオン液体により優れた難燃性のデザインが可能

## 成果

### 見た目

割れ、そりなどの変化は見られない(下左図参照)

### 難燃性

無処理木材



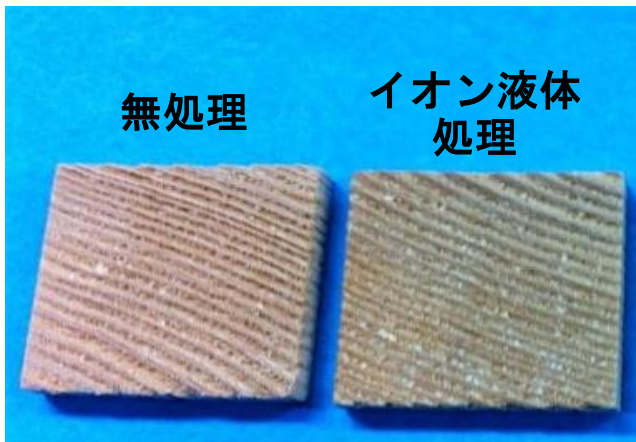
ほとんど全てが燃焼している

イオン液体処理木材



炎は立たず延焼しない

800°Cでも燃え尽きない



😊 処理による見た目の変化なし

😊 優れた耐防火性を発揮